

# JKJO全日本空手審判機構 試合規約

## 【試合時間】

本線	延長	再延長(決勝のみ)
1分30秒	1分	1分

※ 延長・再延長後はマストシステム

## 【防具着用表】

防具	ヘッドガード	拳サポーター	スネサポーター	膝サポーター	ファールカップ	チェストガード
	主催者用意	JKJO指定品	JKJO指定品・推奨品	JKJO推奨品	JKJO指定品・推奨品	JKJO指定品・推奨品
幼年	○	○	○	任意	○	×
小学女子	○	○	○	3年以上義務	○	3年以上義務
小学男子	○	○	○	3年以上義務	○	×
中学女子	○	○	○	○	○	○
中学男子	○	○	○	○	○	×
高校女子	○	○	○	○	○	○
高校男子	○	○	○	○	○	×

## 【審判員】

主審を含めた5名の審判員が競技の審判にあたるが、競技に関する最終決定は全て審判長の裁可による。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合は、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効とする。5審判員制で2名以下、3審判員制で1名及び主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに異議を申し立て協議する権利を有する。

## 【組手】

● 試合の勝者は一本勝ち、判定勝ち、失格により決定する

● 技あり

● 一本勝ち

- 攻撃技により相手をダウン又は戦意喪失させた場合
- 自滅の場合も同上
- 技あり二本を取った場合

- 攻撃技により動きが止まった場合、又は一時的に戦意喪失させた場合
- 上段蹴り技がノーガードの相手選手へクリーンヒットした場合
- 前蹴り・下段蹴りで相手選手が宙に浮き背中から落ちた場合

● 失格

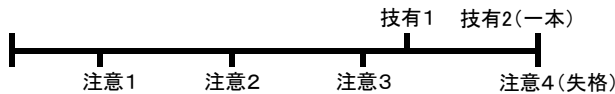
- 注意4が与えられた場合
- 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合
- 試合時間に遅れた時
- 審判員の指示に従わない時
- 試合開始後の嘔吐はダメージと見なされ失格とする

● 反則

- 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み
- 掌底押し、正拳押し、相手の体に手・胸を付ける
- 頭突き、頭をつけての攻撃
- 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り
- 背後からの攻撃、倒れた相手への攻撃
- 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ
- 上段膝蹴り(小学生以下は反則、中学生以上は有効)
- その他審判が反則とみなした場合

● 判定

- 判定優先順位  
(一本(失格) > 技有り > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性)
- 判定基準図解



0	<	注意1	<	注意2	<	注意3	>	注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0		≧	注意2						注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
0			>	注意3					注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技ありを取らない限り負けである
0							>	注意4	注意4になった時点で失格
		注意1		≧	注意3				注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容では引き分けもある
		注意1					>	注意4	注意4になった時点で失格なので相殺されない
				注意2			>	注意4	注意4になった時点で失格
0	<	技有+注意1	<	技有+注意2	<	技有+注意3	>	技有+注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0			<	技有+注意2					注意差2でも技有りがありなので勝ちである
0				≧	技有+注意3				技有りがあっても勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
0							>	技有+注意4	技有りがあっても注意4になった時点で失格
		技有+注意1		≧	技有+注意3				注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
		技有+注意1					>	技有+注意4	注意4になった時点で失格
				技有+注意2			>	技有+注意4	注意4になった時点で失格

## 【注意事項】

- 男子のインナーTシャツは禁止、女子のインナーTシャツは白のみとする。ファールカップはズボンの中に着用すること。
- コートの上入り、試合前後の挨拶は必ず頭を下げて行うこと。
- 判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は禁止とする。
- 審判に対しての抗議は一切受け付けない。
- 技有り数、注意数の明らかなミスは、各コート責任者へ次の試合までに申告すること。次の試合開始後は無効とする。